

森のひろば

NO.1013

22年7月

近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

トピックス



森林セラピー基地「森林セラピーロード」のフィールドとして認定された滑山国有林（滑山風景林）で、森林の持つ癒し効果を実感してみませんか！

滑山国有林（山口森林管理事務所）



十方山風景林（広島森林管理署）



鹿久居島風致探勝林（岡山森林管理署）



奥伊吹野外スポーツ地域（滋賀森林管理署）

ようこそ

レクリエーションの森へ

豊かな自然環境を積極的に活用するため、全国の国有林野の中から美しい森林や山岳、溪谷、湖沼などの景勝地及び野外スポーツに適した森林空間等を「レクリエーションの森」として選定し、国民の保健・文化・教育的利用に広く提供しています。

全国で1119箇所（うち近畿中国森林管理局管内には130箇所）選定されています。「レクリエーションの森」は、その利用形態に応じて6種類（自然休養林、自然観察教育林、森林スポーツ林、野外スポーツ地域、風景林、風致探勝林）に区分され、自然環境の保全、地域振興等に十分に配慮しながら、それぞれの状況に応じた森林や施設の整備が計画的に行われています。



『レクリエーションの森』紹介（6種類）

◆ 自然休養林

特に景観が美しく、保健休養に適した森林です。自然探勝、登山、ハイキング、キャンプなどを複合的に楽しむことができます。

◆ 自然観察教育林

自然科学教育や自然観察に適している森林です。自然探勝を楽しみながら植生、野鳥などの観察や森林の働きなどを学ぶことができます。

◆ 森林スポーツ林

森林とふれあいながらスポーツを楽しめる森林です。キャンプ、フィールドアスレチック、サイクリングなど、アウトドアライフを楽しむことができます。

◆ 野外スポーツ地域

雄大な自然と新鮮な空間に浸り、スキー、テニスなどのスポーツで爽快な汗を流し、リフレッシュできます。

◆ 風景林

名所、旧跡等と一体となって景勝地を形作ったり、展望台等から眺望される美しい森林です。

◆ 風致探勝林

山岳、湖沼、渓谷等が一体となった美しい自然景観の探勝を楽しめる森林で遊歩道等を利用して、様々な樹木、四季折々の自然の織りなす彩りを味わえます。

低コスト造林の推進

【森林整備課】これまで造成した人工林が利用期を迎えるに当たり、森林資源の循環的な利用を図っていくためには、伐採後の再造林が一層重要になっています。

しかし、現状では主伐時の収入の大半がその後の再造林経費に費やされる状態となっており、林業の採算性の向上には、造林、保育に要する費用を縮減することが重要です。

このため、林野庁では、伐採・地拵えの一体化、低密度植栽、大苗導入などに取り組んでいます。

また、植栽する苗木については、植栽の省力化や良

好な初期成長が期待されるマルチキャビティーコンテナ等を用いた苗木の導入に取り組んでいます。

近畿中国森林管理局では、平成21年度から三重森林管理署において三重県と共同で低コスト造林の試験を行っています。

また、平成22年度には、兵庫森林管理署（10月）・和歌山森林管理署（2月）において、近隣の関係行政機関及び業界関係者による低コスト造林技術の勉強会を開催します。

1 セラミックチューブ苗

今年度導入するセラミックチューブ苗の特徴としては

- 1 育苗期間が6ヶ月と短い。
- 2 植え付け作業の能率が良く1日当たりの植栽本数が約1000本と多い。
- 3 軽く取り扱いがよい。
- 4 植栽時期を選ばない。
- 5 植え付けが誰でも簡単にできる。

以上のような利点があります。



セラミックチューブ苗



手で苗木を地面に挿して植栽する様子

マルチキャビティーコンテナ苗については、23年度岡山署において植栽する予定です。

2 マルチキャビティーコンテナ苗

マルチキャビティーコンテナ苗の特徴としては

- 1 育苗技術が確立されている。
- 2 植え付け作業の能率が良く1日当たりの植栽本数が約1000本と多い。
- 3 苗木の根の状態がよく成長がよい。
- 4 植栽時期を選ばない。
- 5 植え付けが誰でも簡単にできる。

以上のような利点があります。



マルチキャビティーコンテナ苗



植え付けの穴掘り道具を使って植栽する様子

これらの方法により、植栽の能率をあげるとともに、植栽時期を選ばないことにより、伐採してすぐに植栽することができ、地拵の能率もアップし、下刈りを二回程度は減らせると考えています。

また、植栽時期を選ばないことにより、作業の閑散期等を利用でき、人的効率もアップします。

今後、これらの作業方法が普及すると、1haの植栽がわずか2人工程度ですんでしまうこととなります。

地域ニュース

第27回県民みどりの祭典の開催

【石川森林管理署】石川県主催の「第27回県民みどりの祭典」が、石川県津幡町の石川県森林公園緑化の広場において開催され、2000人の参加者で賑わいました。

この祭典は、昭和58年に石川県で開催された第34回全国植樹祭並びに平成6年に開催された第18回全国育樹祭を記念し、緑化活動を通じた健全な青少年の育成や、県民参加の森づくりの推進を図ることを目的として毎年開催されているものです。

式典では、石川県知事の挨拶に始まり、いしかわ森林環境功労者表彰、国土緑化・育樹運動ポスター特選表彰、緑の少年団活動発表など、森林に関わる活動への表彰や紹介が行われました。



緑の少年団等が参加して行われた開会式の様子及び国有林ブースコーナー

また、場内では協賛団体による木製遊具、しいたけ植菌、木工作、地元の産物販売コーナーなど色々なブースが来場者を楽しませ、石川森林管理署も国有林コーナーとして国有林の紹介パネル等の展示と、木製キーホルダー作成を担当し、大勢の子供たちで賑わいました。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/ishikawa/>

抵抗性クロマツの植樹式

【福井森林管理署】福井県あわら市に所在する北潟国有林において「FBC 福井放送株式会社」が主催する抵抗性クロマツの植樹式が行われ、フィールドの提供、スタッフとして協力・参加しました。

これは、福井放送が展開している「ずーっと、福井で。」というキャンペーンの一環として、県木であるマツを育成することを目的として県内各地で行われている行事です。

当日は、地元の「波松小学校」生徒16名、FBC社員、福井県、あわら市、フォレストサポーターの会の総勢60名余りの参加を得て、実施されました。あいにくの雨模様で、風もかなり冷たい状況でしたが、小学生はどんどん植え付けを進め、あちこちから、「もう植えるところはないの?」と、元気な声が聞こえていました。苗木100本を植え付けることが出来ました。小学生は、一生懸命マツを植え付けたあとに、竹の添え木を行って、未来の松原に思いを寄せていました。



参加者全員で記念撮影 雨が降る中、抵抗性クロマツを植樹する小学生

なお、福井森林管理署では、北潟国有林をフィールドとして、波松小学校、福井県フォレストサポーターの会との3者による「遊々の森」の協定を締結しており、今後も様々な活動を行います。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hukui/>

低コスト路網企画者研修の開催

【販売課】近畿中国森林管理局では、路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた低コスト・高効率の木材生産に向けた低コスト路網生産システムの普及のため、平成20年度から担当職員等を対象に研修を実施しています。

去る5月26日から28日に、岡山森林管理署管内の古谷及び用郷山国有林において、路網企画者研修を開催しました。

研修生は、事前に研修予定箇所の図面に作業路(集材路)を記入し、現地では、図面ではわからない沢の



意見交換会、現地において計画路線を選定する参加者

横断ルートなど班ごとに路線を選定し意見交換を行いました。

今後も崩れにくく低コストで効率的に生産する作業システムの普及を図り、研修等を通じて取り組んで参りたいと思います

やまぐち森林づくりフェスタに初参加！

【山口森林管理事務所】『やまぐち森林づくりフェスタ』が、山口市阿知須の「山口きらら博記念公園」において開催されました。今年は、平成24年に開催される全国植樹祭のプレイベントとして、子供達が植樹祭の苗木となるドングリの種まきをするなど多彩な催し物が行われ、過去最高の2万2千人が来場しました。



子供達に小枝を使ったアクセサリ作りを教える職員

当所は今年が初めての参加と言うこともあり、どんな企画にするのか所内で議論が白熱しました。

企画のひとつは、親子連れでも木に親しんでもらえるように、小枝などで簡単なアクセサリを作る木工教室をすることにしましたが、国有林の仕事を紹介できるものがないかとずいぶん悩みました。結局、若手職員のアイデアで、違う角度から撮影した2枚の航空写真を左右別々の目で見ることのできる「実体鏡」を使い、最近話題の立体視を体験してもらうことに決めました。

フェスタが始まるまでは、お客さんに来てもらえないのではと心配する職員もいましたが、多い時には十数名の順番ができるほどの盛況で、中には職員が練習で作った奇怪なアクセサリ（失敗？）作品を持ち帰る若い女性もいたり、お客さんだけでなく職員も「小さな驚きと感動」を体験した1日でした。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/yamaguchi/>

お知らせ

芦津溪谷体験トレッキング参加者募集について

鳥取県智頭町にある芦津溪谷で、清流と岸壁を眺めるトレッキングや巨木に触れる体験をします。

「芦津水辺の森」は、鳥取県の景観100選に選ばれており、中国自然歩道から今は無きトロッコ道の面影も見ることができます。

1. 開催場所
芦津水辺の森（鳥取県八頭郡智頭町）
2. 開催日
平成22年7月24日（土曜日）
3. 募集人員
40名（先着順とします。小学生以下については保護者同伴が必要です。）
4. 申込期限
平成22年7月21日（水曜日）
5. 申し込み方法
様式に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申し込みください。
送信先：06-6881-3564
(近畿中国森林管理局指導普及課)
6. 服装
長袖、長ズボン、山歩きできる靴
7. 持ち物
弁当、水筒、帽子、軍手、タオル、雨具など。
熱射病対策のため、水分はしっかりご持参ください。
8. 参加費
100円（保険料として当日集めます。）
9. 集合時刻
平成22年7月24日（土曜日）午前9時50分
10. 集合場所
智頭駅前広場（鳥取県八頭郡智頭町）



展示してあるトロッコ列車



沖ノ山国有林内にある腐根樹

※詳細につきましては、下記アドレスよりご覧ください。

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sodateyou/higasi_chugoku_ws.html